

# マイページシステムによる情報通知方法の改善結果の報告

相笠直子<sup>†</sup> 山口治男<sup>†</sup>

東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科<sup>†</sup>

## 1. はじめに

本稿では、大学キャンパスなどで有効と考えられる新しいコミュニケーション形態のシステムを構築し、実用的な評価を行った結果を報告する。

現在、インターネットを利用したコミュニケーション形態の多くは、情報発信者が Web サイトのサービスを利用して情報を提供し、情報受信者は個々のサイトから情報を取得するという 1 対多の直接情報配信という共通の形態を持っているのが基本であると考えられる。これに対して、情報発信者と情報受信者の間に第 3 の関係（リレーション）を仲介してコミュニケーションを行う形態のサービスを考え、大学キャンパスにおいてこの概念を用いたシステムとして「マイページシステム」を構築した。

本システムは、大学における学生と教員の間に存在する講義という共有するイベントを介してコミュニケーションを図ることによって、利便性の高いサービスを実現することを目的としている。このコミュニケーション形態では、複数の情報発信者がイベントに関する情報を発信し、複数の受信者は自分に関係するイベントに関する情報を受信する形態において、イベントが仲介することによって、情報受信者が関係のあるイベントに関する情報のみを一括して受信することのできる利便性の高いサービスを実現できる。

本報告では、東京工科大学メディア学部を対象に実用に供したシステムによって 2 回の評価を行った結果を報告する。第 1 回の評価結果を受けて、システムの改良を行った後の第 2 回目の評価結果を分析した結果も報告している。

## 2. 当初の問題点と解決策

本システムでは、自分に関係のある講義を登録し、それを構成した時間割、関連する休講・教室変更と学生呼び出し案内、これら 4 つの情報を個人単位にマイページで提供する。学生は大学キャンパス内のシステム共通で利用できる

LDAP 認証を利用してログインを行う。

当初のシステムに対して 1 回目の評価分析を行った結果、利用者が想定していたよりも少ないことがわかった。原因は使い勝手の悪さとマイページにて提供する情報が少ないことが推定された。

本システムでは、自分に関係のある講義を登録フォームにて設定する。このとき、200 以上もある講義の中から探して選択するのに非常に手間がかかり、使い勝手が悪いという意見があり、それが利用意欲を低下させていた。

また、アクセス解析の結果、時間割を確認するという目的だけでは毎日アクセスする必要性が低く、利用者は週 1、2 回のアクセスでマイページにアクセスする目的を満たしていたことがわかった。

以上の評価を反映させるために、講義登録フォームの使い勝手の向上と「教員からのお知らせ」という新しく提供する情報を増やす改良をした。

当初の講義登録フォームは Ajax を利用したシームレス検索により一覧表示される講義項目を制御する表示形式であったが、学生が見慣れた時間割形式で時限と開講曜日から後期項目を選択できるようにした。

「教員からのお知らせ」機能では、教員がマイページを通じて特定の講義に情報発信し、それに関係している学生が受信する。予めシステムに登録されている講義の他に、教員が自由にイベントを設定することもできる。

## 3. 評価分析

本システムを実用に供し、東京工科大学メディア学部を対象に評価を行った。対象学部の全学生数は 2,151 名である。表 1 に第 1 回目の評価、表 2 に改良後の運用結果である 2 回目の評価を示す。実質的な利用者を、受信を希望する講義グループに登録した学生であると考えられる。

アクセス数を比較分析すると、前回と比べ利用者の大幅な増加がみられた。曜日別にアクセス数を解析した結果、月曜と木曜のアクセスが多いことが判明した。この原因として、本システムを利用して情報を発信する講義が月曜と木曜

The Report of the Improvement Result of the Notice Method of Information by Mypage System

<sup>†</sup> Naoko Aigasa, Haruo Yamaguchi

Graduate School of Bionics, Computer and Media Sciences, Tokyo University of Technology

に開講していることが挙げられた。

表1 1回目の評価結果

|                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 評価期間                     | 2008/5/26～2008/8/8     |
| 日数                       | 75 日間                  |
| 全体アクセス数                  | 5904                   |
| アクセス数/週                  | 536                    |
| ユーザ登録数                   | 723 名                  |
| 講義グループ登録者数               | 404 名<br>(ユーザ登録数の 55%) |
| 実質の利用者(講義グループ登録者/学部全学生数) | 19%<br>(404 名/2,151 名) |

表2 2回目の評価結果

|                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 評価期間                     | 2008/9/29～2008/12/20   |
| 日数                       | 83 日間                  |
| 全体アクセス数                  | 14283                  |
| アクセス数/週                  | 1190                   |
| ユーザ登録数                   | 1183 名                 |
| 講義グループ登録者数               | 913 名<br>(ユーザ登録数の 77%) |
| 実質の利用者(講義グループ登録者/学部全学生数) | 42%<br>(913 名/2,151 名) |

2008 年 12 月 11～17 日に、メディア学部学生 1・2・3 年を対象にアンケートを行った。全回答者数 412 名で、うち対象学部の 1 年生 218 名、2 年生 142 名、3、4 年生 46 名の回答を得られた。図 1 にアクセスする目的、図 2 に改良後フォームの使いやすくなったかについての結果、図 3 にシステムが大学生活に役立っているかについての結果を示す。

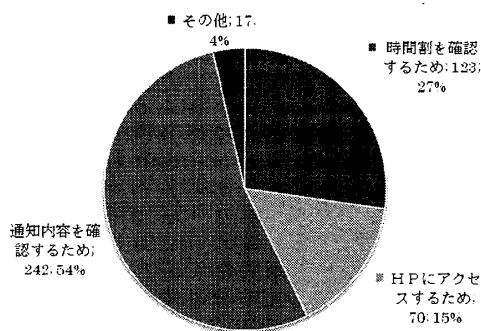


図1 アクセスする目的

アンケートの結果、約 41%の学生が自分の大学生活に役立っていると評価し、改良した時間割形式のフォームは利用しやすくなったという結果が得られた。一覧形式での登録より見慣れた時間割形式の方が直観的に理解しやすく、目的の講義を探しやすくなったと考えられる。

アクセス解析と重ねて考えると、利用方法の傾向は、月曜と木曜に開講する講義の通知内容を

確認するために本システムにアクセスしていることがわかった。

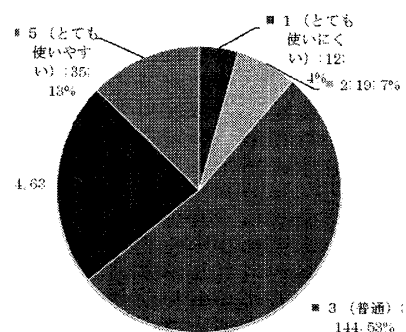


図 2 改良後のフォームの使いやすさ

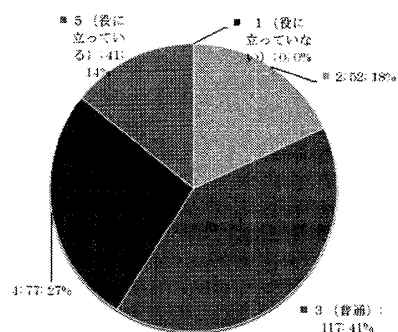


図 3 システムが大学生活に役立っているか

#### 4. まとめと考察

情報発信者と情報受信者の間の関係（リレーション）を仲介するコミュニケーション形態を大学キャンパスで適用した「マイページシステム」を実用にし、評価を行った。「関係」として講義というイベントを取り上げ、これを仲介した大学キャンパスにおける情報配信サービスを実現することができた。実用的な評価の結果、このようなシステムにおいて、情報が配信される頻度が低く、配信される情報量が現在のところ少ないことにより、利用者に利便性を十分に感じさせたという評価が得られなかった。今後の課題として、イベントに関する情報量を豊富にすることで、本システムを利用した情報配信サービスの発展が期待できると考えられる。

#### 参考文献

- [1] 相笠直子・山口治男、第 70 回情報処理学会全国大会講演論文集 6ZL-4「大学キャンパスにおける個人適応型情報通知システム」(2008. 03)
- [2] 相笠直子・山口治男、第 4 回情報システム学会全国大会 B1-1「大学キャンパスにおける個人適応型情報通知システム」